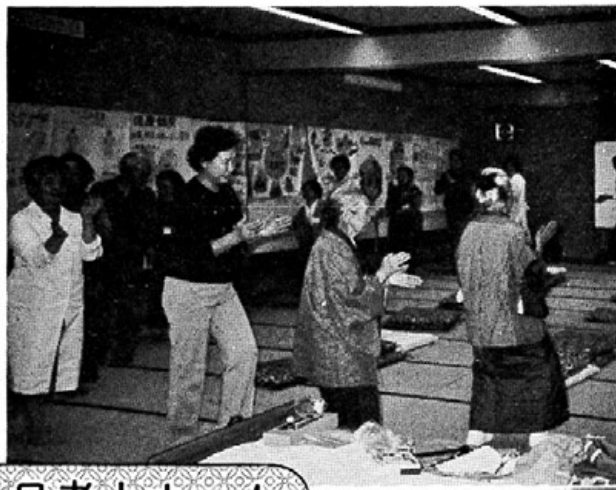


# 五省会ニュース

発行所  
医療法人財団五省会西能病院  
〒930 富山市五福1130  
TEL (0764) 41-2481(代)  
発行人 西能正一郎

五省  
一、至誠、情をなかりしか  
一、言行、恥をなかりしか  
一、氣力、衰をなかりしか  
一、努力、憾をなかりしか  
一、不精、怠をなかりしか

## 極楽だがいいね



一日老人ホーム

「極楽だがいいね」と、なかなか評判のよい「一日老人ホーム」が、今年も滑川市を皮切りに五月二十日から十一月にかけて県下の各種センターで開かれる。介護を要する老人(おおむね65歳以上)をお世話して元気づけようというもの。介護者は県看護協会(太田ゆい会長)の会員である看護婦と保健婦、助産婦。58年度から行われており、同協会、富山県、各市町村が主催している。

ことしの開催がきまったのはつぎの九月二十日(滑川 社会福祉センター) 十月八日(健康センター) 十月十日(新湊市保健センター) 十月二十日(小矢部市市民センター) 魚津市(デイ・サービス)

### 今年も県下で12回以上

5月20日の滑川を皮切り  
レジャーの四つのコーナーがある。一番喜ばれたのは清拭、洗髪、ひげそり、爪切り、マッサージなど、至れり尽せりの看護コーナー。動ける老人には、健康体操、リズム体操、そして民謡にあわ

せた踊りがうけたという。「ご馳走いただいた、フカフカのふとんに寝かせてもらって...。そのうえ送り迎えまでしてもらって、有難いことです」。「みなさんと楽しく話ができ、のんびりした気分になり結構なことでした」。髪をきれいに洗ってもらって、耳のアカまでほじってもらって、まるで美容院へいらついでみたいだつたちゃ。老人たちは異口同音に感謝している。

### 恍惚の妙案は

西能正一郎

有吉佐和子さんの「恍惚の人」がベストセラーになったのは、もう十年余りも前のことであろうか。このテーマに正面から取り組んだ作品もなく、読者にもまだ他人事として受け止めることが出来る時代だったので好評を博した。その後、寿命が飛躍的に延び、日本が世界一の長寿国になるに至って、生命はあるけれどもあちこち部品の故障した身体が目立つようになった。

### 頭と体で別の生き甲斐を

#### 乗り替える工夫が必要

頭の中の配線がおかしくなると、社会生活に合わない人も身辺に見られ、もはや他人事としてすまされなくなりました。なんとなく親しみを持って「恍惚の人」なる言葉も、今や「ぼけ老人」「痴呆老人」とまことに淋しい。この方達が徘徊するようになって、今や社会問題になろうとしている。私の病院にも腰や腕、脚の病気で来られたはずなのに、ついでに一寸ばかり頭の配線の具合の悪くなっている方が見られるようになった。この人達と語っていると、全く楽しい。昼と夜と

門家でないので出過ぎたことはいえないが、このような状態になってしまつてからは、今のところ手の打ちようがないのである。狂った配線をピタリと元の状態に戻してくれる妙案もない。そして概して、若い時代から頭脳労働が激しく、重要な地位にあった方が、急にその労作から解放された時に発病するようである。いずれも在任中は外の事には目もくれない仕事の虫であった。猛スピードで走っていた車に急ブレーキをかけたようなもので、頭の中でショックが起こり、配線がおかしくな

が良くてもはた迷惑ではこれまた老害となる。食道手術の世界的な大家、中山恒明先生が、いつかNHKの朝の対談で、自分の生活パターンを披露しておられた。先生は今、退官して悠々自適論の整理をしたり、音楽に耳を傾けたり、絵を描いたり、庭でトマトを作ったりしておられると聞き、さすがに、と感服した次第である。(寄稿の朝日新聞「越中閑話」から)

## あすなろ

また老人いびりが始まった。老人ホーム反対運動はよく聞いたが、今度は兵庫で老人マンション建設に住民の一部が反対、町議会もそれを認めたという。地域の景観を損ね資産評価が低下するが理由だ。老人の住居は地域住民といつしよに暮らせる町に建てられるのが理想。しかし日本の老人ホームは人里離れたところにあるのが普通だ。そこへいくとアメリカは違う。日本の老人ホームに当たるナッシング・ホームは町ごとに一つ、中心部にあり、百人前後の老人が生活している。医者が一人か二人、他に看護婦、看護助手を含め十数人の職員があり、病気をすれば病院へ移される。ホームには美容室もありおばあさんは毎日髪をセットして「おしゃれ」を楽しんでおり、老人同士の恋も生まれるそうだ。もちろん在米日本人の入居者もいるが、そこで日米老人かたぎを比べると最大の違いは日本人には毎日のように面会にくる家族がいるがアメリカ人にはあまりないそうだ。だからといって見舞い客の数が少ない少ないで、不幸を決めるのは日本人の物差し。アメリカ人は面会人が少なくても平気で、自分で自分のことを管理できなくなった時に不幸だと嘆く。ちなみに「何が楽しみ」かという問いに日本人は①孫の面会②食事③おふろ。アメリカ人は①食事②化粧③芸能、娯楽。アメリカ老人は、むしろ、ふるを稼ぐそうだ。

## 医療福祉制度の手びき

A氏は、長年腰痛で苦しんできたが、この度、医師から手術を勧められた。しかし、入院中収入がなくなる事を考えると、決心がつかない。このような時には、健康保険より傷病手当金の支給が行なわれる。A氏の場合は、扶養家族があるので、一年六カ月の範囲で、標準報酬日額の60%が支給される。これを聞いてA氏は、全てを医師に任せようとした。

〈支給要件〉 次の条件全てを満たしている事が必要である。

- ①療養のために休んでいる。
- ②病気やケガのため働く事ができない。
- ③仕事ができなくなつて連続して三日以上休んでいる。(四日目より支給される)
- ④給料が支払われていない。

ただし、給料の支払を受けていても、傷病手当金の額より少ない時には、その差額が支給される。

〈支給額〉 一日について標準報酬日額の60%。ただし、被扶養者がいないと入院中は40%。

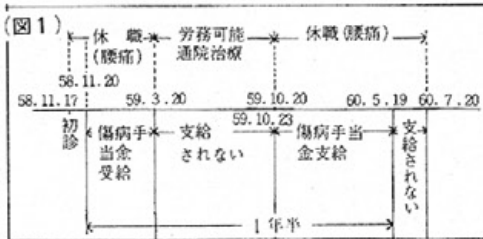
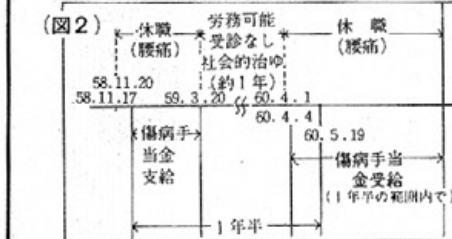
〈支給期間〉 同一の傷病について一年六カ月。ただし、支給中に別の病気がかかった場合は、その病気に対しても一年六カ月の範囲で受ける資格があるが、前の病気と重複しては支給されない。

支給期間の一年六カ月のなかには、仕事ができるようになって傷病手当を支給されていない期間があつてもその期間を含めて一年六カ月という事になる。(図1)

前にかかった病気で治療して、一定期間(おおむね一年)医療機関に受診せず、働いておれば、同様の病気が再発しても「同一疾病」とは認められず、新たに傷病手当を受ける事ができる。(図2)

又、退職時に傷病手当を受けていた人は、退職後も一年六カ月までは引き続き受ける事ができる。

(医療ソーシャルワーカー 高村美和子)



### 思い出を語る

〈20〉

中島 昭和四十二年は開院五周年記念パーティで、市内巡回バス運行(三月)などが、十月には病院第二期増築工事に着手しました。先生は、このころの先生たちはどうでしたか。

### 車庫の二階に

森田 昭和四十二年は、先生が車庫の二階に泊まられたことが、おぼろげに覚えています。先生は病室前の車庫の二階に泊まられておりました。その当時は夜でも普通、八十人の外来患者さんがおられました。おぼろげに覚えています。おぼろげに覚えています。

### 出雲者(紙上参加者)

△元勤務者 山田信夫 荒井三津子、池田千佳子、上田(藤田)幸子  
△現勤務者 石倉喜一、津田勝美、米田利代、山口リツ子、井上千恵子、安川みどり、森田由紀、部長 中島 古沢さん(事務)

# ねんりん

西能病院のあゆみ

先生(事務)で夜十時ごろまで勤務しました。車庫へ先生を呼びにいたり、寮の看護婦さんによく緊急呼び出しをかけました。先生は、このころの先生たちはどうでしたか。

### 院長の率先に感激

和四十二年九月でした。院長の率先に感激しました。院長は、なかなかやる人だ、という印象が非常に強かった。院長は、率先に感激しました。

### やる気まんまん

吉沢 これまで、人気があつた。やる気まんまん。吉沢は、やる気まんまん。吉沢は、やる気まんまん。

### 夜の手術のこりがザラ

中山 はい、はじめは外來に「おぼろげ」が目だつた。夜の手術のこりがザラ。中山は、夜の手術のこりがザラ。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

中島 昭和四十二年は開院五周年記念パーティで、市内巡回バス運行(三月)などが、十月には病院第二期増築工事に着手しました。先生は、このころの先生たちはどうでしたか。

### 西能病院のあゆみ

先生(事務)で夜十時ごろまで勤務しました。車庫へ先生を呼びにいたり、寮の看護婦さんによく緊急呼び出しをかけました。先生は、このころの先生たちはどうでしたか。

### 院長の率先に感激

和四十二年九月でした。院長の率先に感激しました。院長は、なかなかやる人だ、という印象が非常に強かった。院長は、率先に感激しました。

### やる気まんまん

吉沢 これまで、人気があつた。やる気まんまん。吉沢は、やる気まんまん。吉沢は、やる気まんまん。

### 夜の手術のこりがザラ

中山 はい、はじめは外來に「おぼろげ」が目だつた。夜の手術のこりがザラ。中山は、夜の手術のこりがザラ。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

ツボ療法は、たとえ痔で苦しんでいる患者さん、頭にツボを刺すなど、ツボの刺激が十分に行きわたらなければ、治療効果は確実にあるということがある。ツボ療法は、たとえ痔で苦しんでいる患者さん、頭にツボを刺すなど、ツボの刺激が十分に行きわたらなければ、治療効果は確実にあるということがある。

### 防衛反応がツボ

いろいろな学説がある。ツボ療法が十分に行きわたらなければ、治療効果は確実にあるということがある。ツボ療法は、たとえ痔で苦しんでいる患者さん、頭にツボを刺すなど、ツボの刺激が十分に行きわたらなければ、治療効果は確実にあるということがある。

### 破損伝票の教訓

伝票は、破損した伝票。破損伝票の教訓。伝票は、破損した伝票。破損伝票の教訓。

### お願ひ

「五省会ニュース」は皆さんの健康福祉向上に役立つ。お願ひ。お願ひ。

### はじめて

吉友 医療収入の話。はじめて。吉友は、医療収入の話。

### 医業はもうからない

本物の医師養成が急務。医業はもうからない。本物の医師養成が急務。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

## 健康法の問題

矢野 三郎

アメリカでは高齢者が家庭で起こす事故によって、年間約七、五〇〇億円の医療費がかかっている。高齢者の健康を守るためには、高齢者が家庭で起こす事故によって、年間約七、五〇〇億円の医療費がかかっている。

## 一年間に六万人が階段事故

老人が安心して住める家の設計を

若者の健康増進にも役立つ提言である。老人が安心して住める家の設計を。老人が安心して住める家の設計を。

### 七日全員が合格

昭和六十年度看護婦国家試験。七日全員が合格。昭和六十年度看護婦国家試験。

### 暖かい手

クリニックの手術室。暖かい手。クリニックの手術室。

### 破損伝票の教訓

伝票は、破損した伝票。破損伝票の教訓。伝票は、破損した伝票。

### お願ひ

「五省会ニュース」は皆さんの健康福祉向上に役立つ。お願ひ。お願ひ。

### はじめて

吉友 医療収入の話。はじめて。吉友は、医療収入の話。

### 医業はもうからない

本物の医師養成が急務。医業はもうからない。本物の医師養成が急務。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

### わたしは「さう思ふ」

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。



クリニックの手術室。暖かい手。クリニックの手術室。



昭和六十年度看護婦国家試験。七日全員が合格。昭和六十年度看護婦国家試験。

伝票は、破損した伝票。破損伝票の教訓。伝票は、破損した伝票。

「五省会ニュース」は皆さんの健康福祉向上に役立つ。お願ひ。お願ひ。

吉友 医療収入の話。はじめて。吉友は、医療収入の話。

本物の医師養成が急務。医業はもうからない。本物の医師養成が急務。

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。



「患者さんの痛みも悲しみも分るいいドクターに…」と西能院長(左)「本当にさうですね」と吉友さん

吉友 そうだと思ふ。わたしは「さう思ふ」。吉友は、わたしは「さう思ふ」。

# 大地を踏む

22

富山市鴨島一区

牧田 栄次郎さん (八五)



ランの花を楽しむ牧田さん—自宅前で

おじいちゃん八十五歳。この二月に目が見えるようになったから久しぶりに「春」が訪れた。「花見もできた、春祭りのシシ舞いで心が踊った。立ちも神通川もきれいだし、そうそう四月十日から四日ばかりで仲間たちといつてきた金毘羅参りも楽しかったね。これもみんな池本先生のおかげですわ」

お祭りの写真をみつめるメガネが笑っている。おじいちゃん、カゼでお医者さんに診てもらったことが一度しかない元気ものだ。

それが数年前から、だんだん目が見えなくなってきた。二年前からはほとんど見えなくなり、声

とラジオだけが頼り。家の周りを杖で散歩するぐらい。家人が、どれだけ受診をすすめても、「もう年だから」と、聞き入れなかった。老人検診も同じこと。頑固もので、お医者さん嫌いで、お玉をしりぞけた。「けな

みんなの顔が見える 頑固おじいちゃん開眼

「走るのは難しいが、歩くのはピンピン。これからは温泉めぐりやお寺参りが楽しみだ。あつちへいこう、こつちへいこうという、さそいにくてくれる」

おじいちゃんの夢はうんとふくらむ。

みんなの顔が見える、テレビがはつきり見える、新聞も大きな活字が読める。――

「本当は、あきらめていたのだが、生きかえった気持ちだ」

家族は長男夫婦に孫二人。昼は留守番役。気がむけば、畑いじりや草むしりも。仲間が遊びにくる。

「池本先生はいい先生だ、いつか守ろう」と誓った。思いこんだら命がけだ。

それから大変。三度の食事は野菜ばかり。いつも側においていたアメ玉をしりぞけた。「けな

「走るのは難しいが、歩くのはピンピン。これからは温泉めぐりやお寺参りが楽しみだ。あつちへいこう、こつちへいこうという、さそいにくてくれる」

おじいちゃんの夢はうんとふくらむ。

「走るのは難しいが、歩くのはピンピン。これからは温泉めぐりやお寺参りが楽しみだ。あつちへいこう、こつちへいこうという、さそいにくてくれる」

おじいちゃんの夢はうんとふくらむ。

「走るのは難しいが、歩くのはピンピン。これからは温泉めぐりやお寺参りが楽しみだ。あつちへいこう、こつちへいこうという、さそいにくてくれる」

おじいちゃんの夢はうんとふくらむ。

## ご苦労さんでした。

### 職員第一号の堀井さんが定年退職



堀井富美子さん

私は三月に西能病院を定年退職しました。務めたのは昭和三十七年三月の開院前で、職員第一号でした。

そのころ私の夫は農協滑川病院の職員(運転手)で公舎におりました。院長ご夫妻(当時、院長は農協滑川病院整形外科医(長)も同じ公舎におられました。それこそ隣り同志の親しい付き合いをさせてもらっていました。富山で開院されるとい話を聞いたときは「まあ、思いきったことを」と、びっくりにしたものです。

### 孫は引き受けた

まもなく夫は富山勤めになり、立山町五百石の家に入りました。一人っ子の長男が三十七年春から小学校です。それで、おばあちゃんに「ぼうやのことたのんます」と手を合わせたところ「孫のことわかった」と心よく引き受けてくれました。おばあちゃんのお陰で務めることができたのです。院長の奥さんが五百石の家へ遊びにいられたことがあり、おばあちゃんもよかったです。

### 院長は 鉢巻きで掃除

開院は昭和三十七年二月二十一日でしたが、それまでの空き医院(富山市星井町)の掃除が大変でした。はじめは院長ご夫妻と私の三人で三月十五日ごろから手がけました。なにしろホコリでいっぱい。なんべん、ぞうきんがけをしたことでしょうか。おばあちゃん、何枚もぞうきんをせせと作ってくれたので助かりました。鉢巻きでぞうきんがけの勇ましい院長の姿が今でも浮かんできます。

### 楽しかった 夜高あんどん

開院してからしばらくは、

は閑古鳥が鳴いていました。あとは大勢の患者さんが押しかけ、少人数で目のまわるような忙しさでした。私たちがもたもたやり、夜おそくまで走り回りました。

星井町時代は給食と寝具係り、五福へ移ってからは売店と寝具係り、そして四十二年ごろから売店専門になりました。嬉しかったのは小さい売店が、新装のときにすっきりした売店に生まれ変わったことでした。

楽しかったことの思い出は旅行やパーティーなどいっぱいあります。やはり開院してからもななく、夜の九時ごろから折詰めを持って八尾風の盆のおわらを見にいったことや、福野町の院長の家によばれて夜高あんどん祭りに行ったことが印象に残っています。

院長は患者さんに対しては非常に親切丁寧でした。職員に対しては規律正しく厳しかったです。それから、皆さんもよくいわれますが、ハンサムなチョウネクタイがすばらしかったですね。そのため私たちが、ついおしゃべりになつてきました。

川崎と北海道で特集に 西能院長の好評な講演

社団法人、川崎市病院協会(前田徳尚会長)は三月二十日、西能院長の「看護管理における私の試行錯誤」(B5版、29ページ)を特集号として発行、関係方面に配布。同協会が主催で一月二十五日に川崎市で開いた「看護婦の資質向上研修会」で西能院長が講演したのを収録したものです。

「がんばります」 西能病院 新人の決意

基本的動作をしつかり

西能病院は、整形外科において高い評価を受けているので、こちらで看護婦の基本的動作と、整形外科の専門的知識をしっかりと勉強して立派な看護婦になりたいと思っております。

(看護部学生・長谷川恵子)

霧困気に順応したい

学生生活を終えて初めて就職したこの西能病院で、厳しい霧困気に順応し、病院の一員として自分なりの看護をしていけるよう頑張りたいと思っております。

(看護部・佐藤寿美)

初心を思い起こして

看護婦になり三年が過ぎました。すべての環境が変わった今、看護婦としての初心を思い起こし、一からやり直すつもりで頑張りたいと思っております。よろしく御指導をお願い致します。

(看護部・上吹厚子)

満足してもらえサービス

西能病院のよい協力体制の中で、患者さんに満足していただける医療サービスを心がけ、常にプロとしての基本を厳格な心がまえで達成できるように努力していきたいと思っております。

(看護部・浦田恭子)

朝日の昇る明るい顔で

人生行路とは、障害物競走といつてよいかもしれぬ。だから、心身ともに強靱なる忍耐と努力の持続なくして、栄光のテープは切れない。そしてつねに朝日が昇っていくような明るい顔でいよう。

(看護部・岡田久美子)

明るい接遇をモットーに

この四月から、西能病院で勉強させていただいております。挨拶・身だしなみ・笑顔・言葉づかい・態度の明るい接遇をモットーに、一生懸命がんばっていききたいと思っております。

(看護部学生・開沢真由美)

真心のこもった対応を

この四月より西能病院で勉強しております。明るく真心のこもった対応ができる看護婦になりたいです。笑顔をやさずがにげばりたいと思っております。よろしくお願いたします。

(看護部学生・加藤奈美)

自分なりに精一杯の努力を

医事係の新人です。医療については、わからないことばかりですが、自分なりに精一杯努力したいと考えています。何かといき届かない点があるかと思っております。よろしくお願いたします。

(事務部・簡井美智代)

よろこばれる食事づくりを

家族のわずかな食事づくりにくらべ、たくさんの方々の食事づくりは大変ですが、せっかくなので、患者さんの食事を少しでもよくなるように食べたいだけよう努力をしたいと思います。

(事務部・出戸春美)

おいしい!!とって下さる顔を

食事が、唯一の楽しみでありましよう患者さんが、「おいしい!!」とって下さる顔がみたくって、毎日、おいしい食事づくりに、そして、明るい職場作りにおいでしております。

(事務部・石黒芳美)

